



あのお、さんぽにいったらね

# あのお、さんぽにいったらね

絵・文 山本省三  
原 案 社会福祉法人森友会(しんゆうかい)  
絵本プロジェクトチーム

絵・文 山本省三  
原 案 社会福祉法人森友会(しんゆうかい)  
絵本プロジェクトチーム

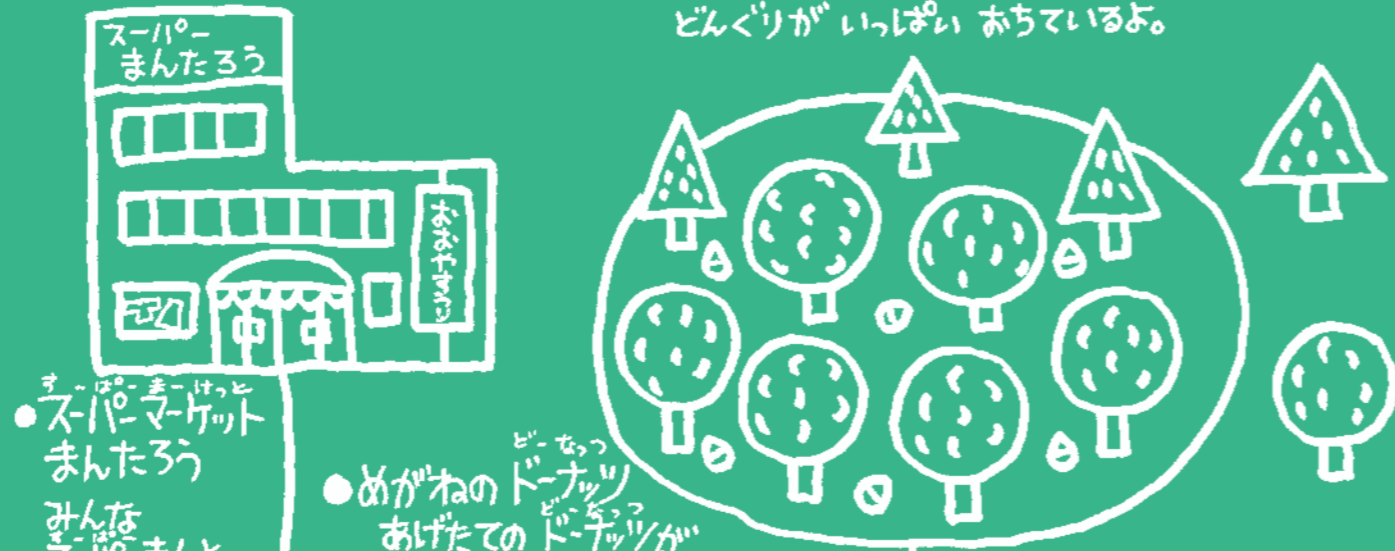




# さんぽコース その1

えんの ともだちが ときどき であける ところだよ。

- どんぐりのもり  
どんぐりが いっぱい おちているよ。



- スーパーマーケット まんたろう  
みんな スーパーまんこ よんでいるんだ。

- めがねのドーナツ  
あげたのドーナツが  
おいしいよ。



- シロのいるいえ  
おおきけれど  
みんなと  
ながよしの  
いぬだよ。



- つほみ  
まえを とおると  
はなの いいにおいがするよ。



- あしたのもりほいくえん



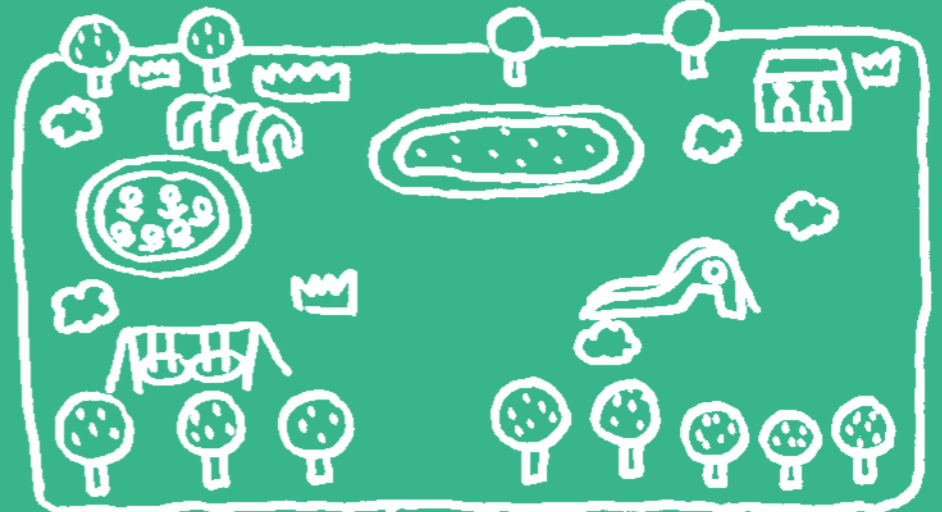
- こくまどう  
かわいい どうぶつ  
ぬいぐるみが  
いっぱい  
おもちゃやさん。



- おおきな さくらのき  
はる、みんなと おはなみを  
するよ。



- こうえん  
ひらいて おもしろい  
かけまわれるよ。



- いえをたてる こうじを  
していた ところ。



- キャンプしよう  
パズルや  
おもちゃが  
できるよ。



- もみじがわ  
あきになると あかいもみじが  
かわに ちってきれい。



# あのね、 さんぽにいったらね

絵・文 山本省三

原案 社会福祉法人森友会(しんゆうかい)絵本プロジェクトチーム





あみが ゆうとせんせいに いいました。

「きのう、おにいちゃんが けやきこうえんで

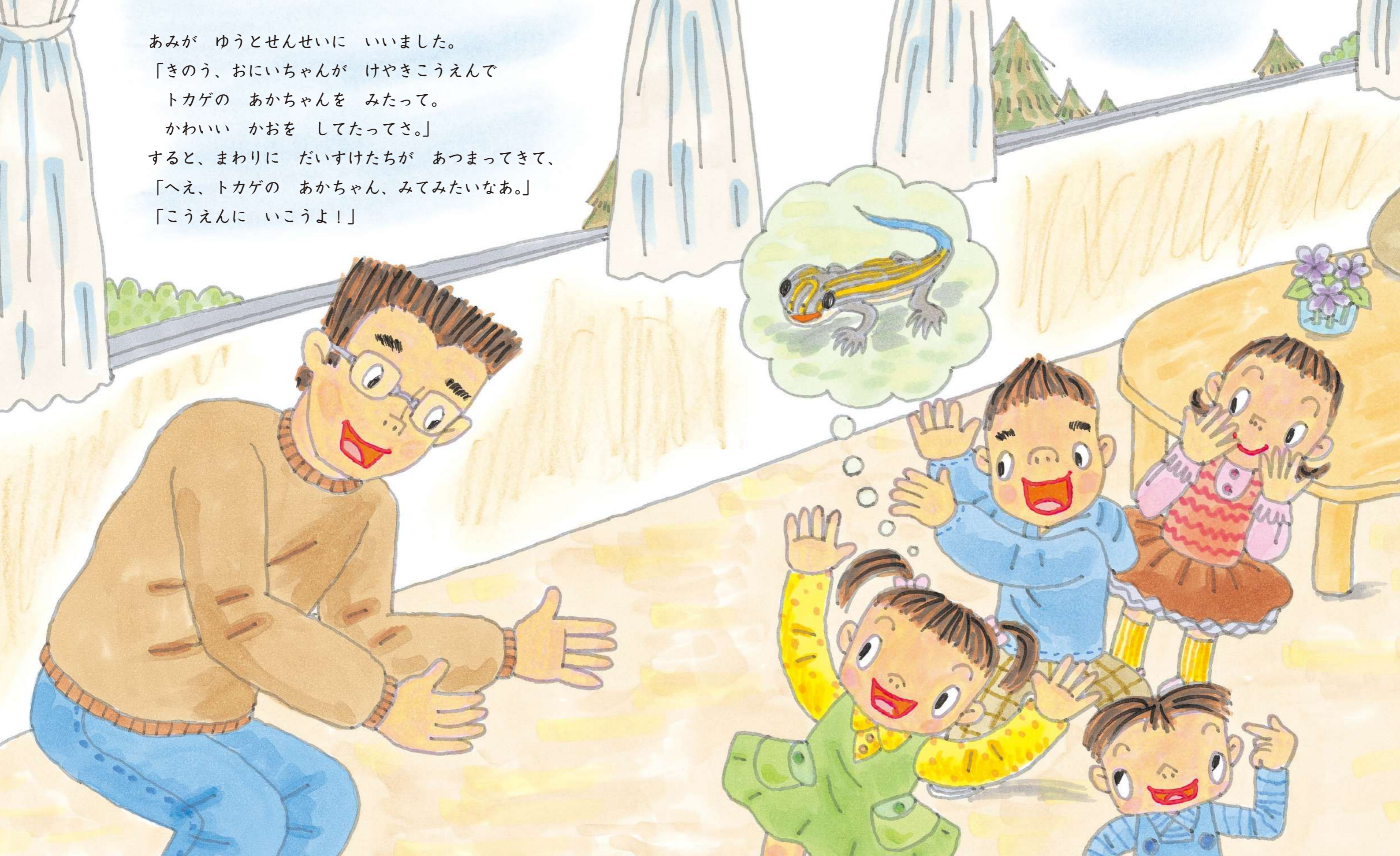
トカゲの あかちゃんを みたって。

かわいい かおを してたってさ。」

すると、まわりに だいすけたちが あつまってきて、

「へえ、トカゲの あかちゃん、みてみたいなあ。」

「こうえんに いこうよ！」





「こうえんに いきたい ひとは、てを あげて。」  
だいすけが そう いうと、  
「はい！」  
まっさきに こたえたのは、あみ。  
そのとなりで、はな、りょう、  
ゆうとせんせいと まりえせんせいも  
てを あげています。  
「いま、ブロックで あそんでるから。」  
「おえかき、まだ したいもん。」  
えんに のこる おともだちも います。  
さくらは もじもじ。






あみたちは、ゆうとせんせい、  
まりえせんせいと けやきこうえんまで  
さんぽに でかけることにしました。  
さくらも くつを はいて、  
ついてきました。







あるきだすと とつぜん、ガガガ、ゴゴゴ、  
おおきな おとが きこえてきました。  
さくらは びっくり、まりえせんせいに しがみつきました。  
「あっちの ほうから きこえたよ。」  
りょうが ゆびさします。  
はなが いいます。  
「なんの おとか みにいきたいなあ。」

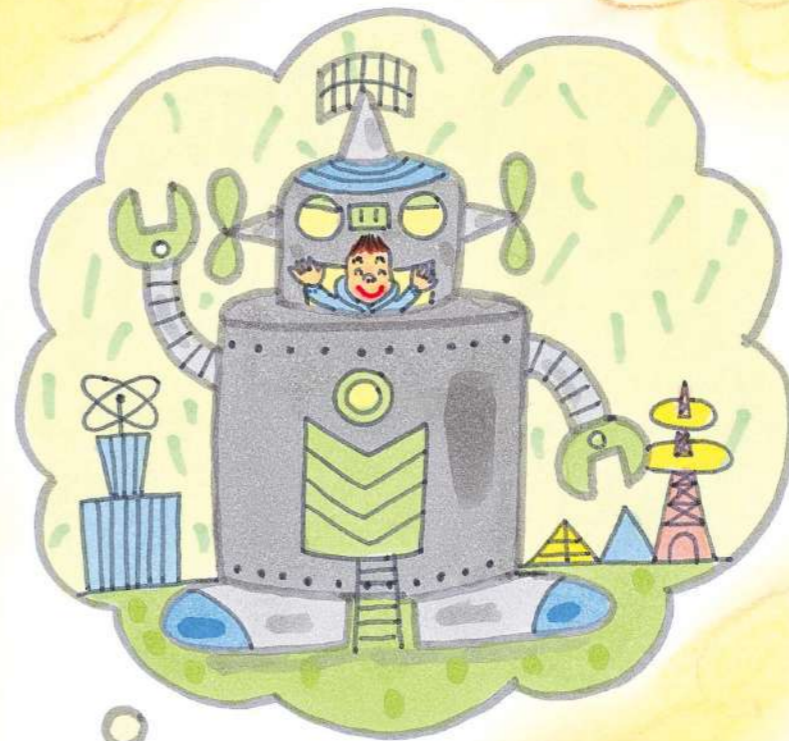




こうえんへの みちを それて、  
ろじに はいっていくと、ショベルカーが  
つちを ほって、ダンプカーに のせていました。  
だいすけと りょうは めを まんまるに して、  
「すごーい、かっこいいなあ！」  
すると、かこいから おじさんが でてきて、  
「おおきな おとで ごめんね。  
ここに いえを たてる こうじを しているんだよ。」

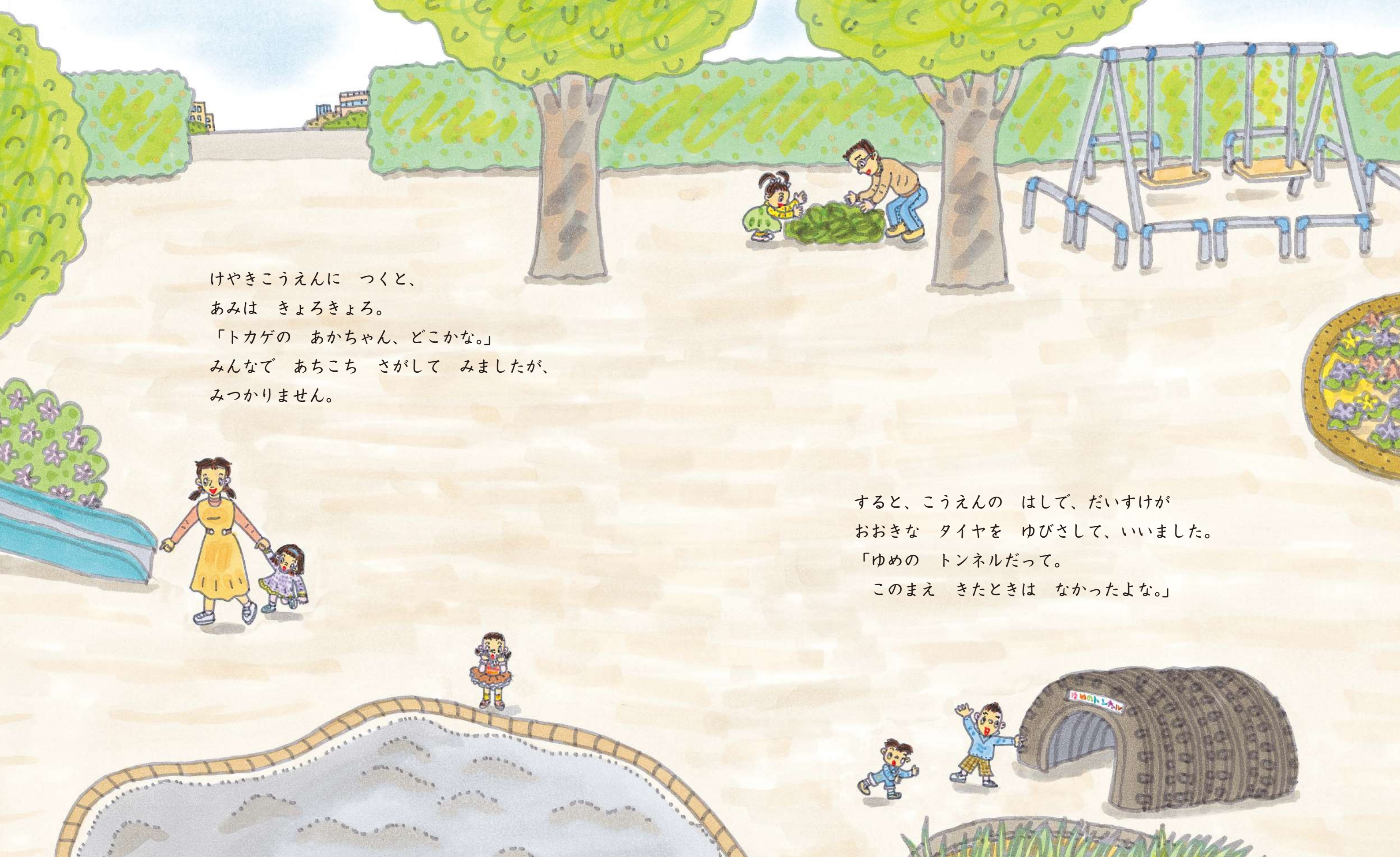


「へえ、どんな いえが たつのかなあ。」  
そう まりえせんせいが つぶやくと、  
みんな あたまの なかに、いろいろな かたちの  
いえを おもいうかべました。



しばらく、こうじの ようすを  
ながめてから、あみたちは、また こうえんへ  
いく みちにもどりました。





けやきこうえんに つくと、  
あみは きよろきよろ。  
「トカゲの あかちゃん、どこかな。」  
みんなで あちこち さがして みましたが、  
みつきりません。

すると、こうえんのはして、だいすけが  
おおきな タイヤを ゆびさして、いいました。  
「ゆめの トンネルだって。  
このまえ きたときは なかったよな。」



「みんなで くぐりっこ しよう！」

りょうが タイヤの トンネルの なかへ ピョン!

つづいて だいすけ、あみ、はな、

さくらは まりえせんせいと いっしょに ピョン!

「ようし、ぼくも！」

おしまいは ゆうとせんせいです。

ゆめのでぐち







おやおや、ふしぎ ふしぎ。

りょうは しんかんせん、だいすけは スーパーヒーロー。

あみは アイドル、はなは ケーキやさんに へんしん。

さくらは ハムスター、まりえせんせいは かんごしさんです。

サッカーせんしゅに なった ゆうとせんせいが、

びっくりした かおで いいました。

「ゆめの トンネルって、くぐると、なりたいものに なれるんだ！」







あみと はなは、さくらの ハムスターの あたまを なでなで。

「かわいいねえ。」

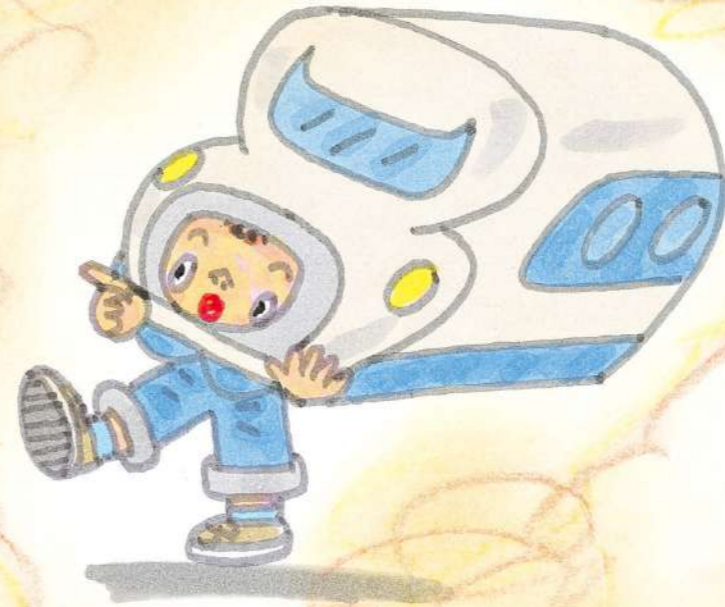
すると、さくらは うれしそうに にっこり。

「アタック ビーム！」

スーパーヒーローの だいすけは、ポーズを とっています。

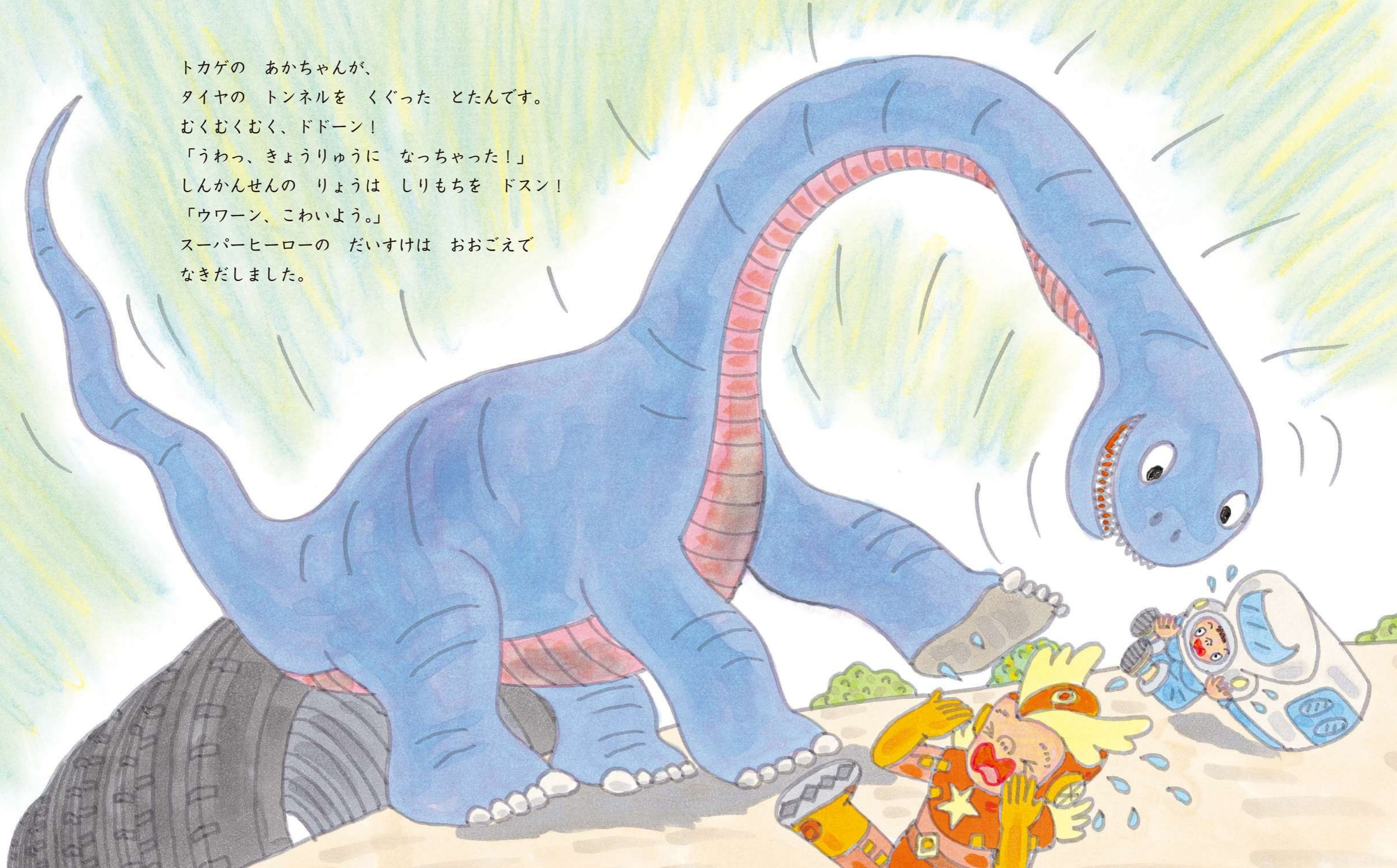
そのとき、しんかんせんの りょうが きづきました。

「ねえ、みて、あれ トカゲの あかちゃんじゃない！」

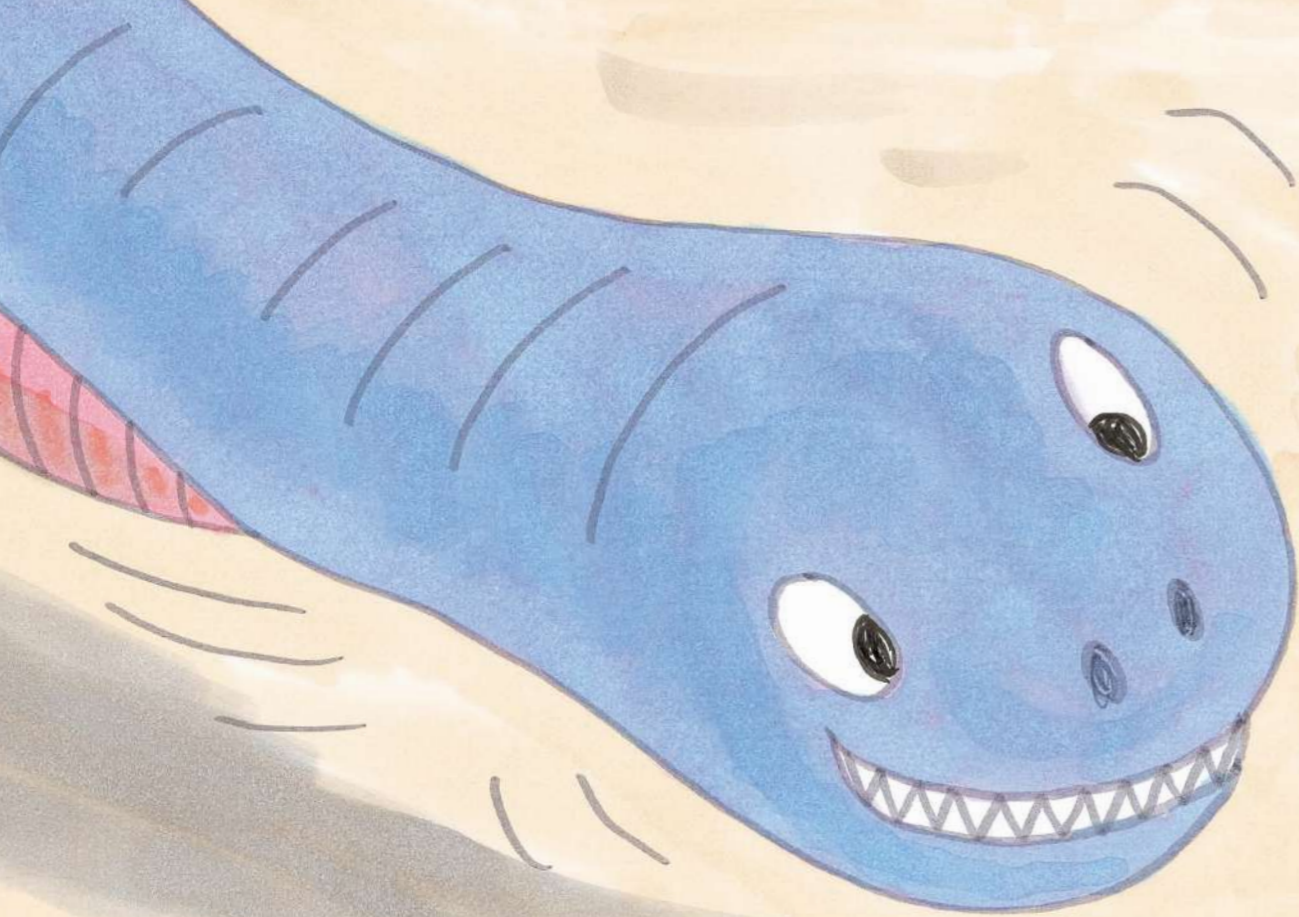




トカゲの あかちゃんが、  
タイヤの トンネルを くぐった とたんです。  
むくむくむく、ドドーン！  
「うわっ、きょうりゅうに なっちゃった！」  
しんかんせんの りょうは しりもちを ドスン！  
「ウワーン、こわいよう。」  
スーパーヒーローの だいすけは おおごえで  
なきだしました。







「はやく にげて！」  
ゆうとせんせいが、きょうりゅうの まえに とびだし、  
てを ひろげました。  
みんな かけだします。  
まりえせんせいは、きょうりゅうを みあげたまま  
たっている さくらの てを にぎりました。  
「さあ、いきましよう。」  
すると、さくらが くびを ふりました。  
「これ、やさしい きょうりゅうだよ。  
えんの ずかんで みたもん。」





なんと、さくらの いうとおりでした。  
トカゲの あかちゃんが へんしんした きょうりゅうは、  
みんなを せなかに のせて、のっし のっし。  
あみが、きょうりゅうの くびを なでて いいました。  
「トカゲの あかちゃんは、やさしい  
きょうりゅうに なりたかったんだね。」





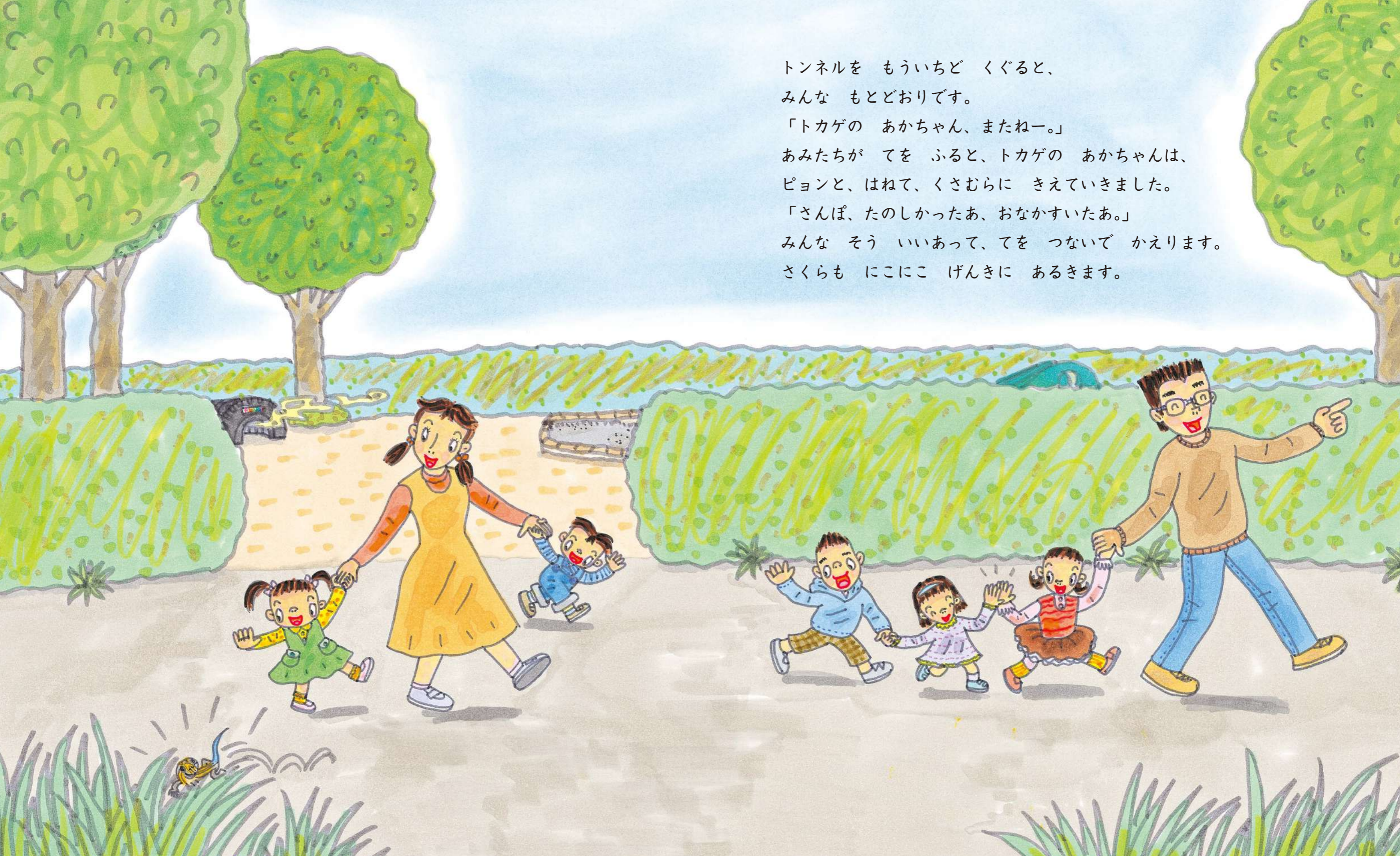
しばらくすると、  
トンネルの おこから  
おひるごはんの いい においが してきました。  
りょうが、はなを くくん。  
「おなか、すいてきたあ。」  
「そろそろ、えんに もどろうか。」  
ゆうとせんせいが そういうと、  
みんなも うなずきます。





トンネルを もういちど くぐると、  
みんな もとどおりです。

「トカゲの あかちゃん、またねー。」  
あみたちが てを ふると、トカゲの あかちゃんは、  
ピョンと、はねて、くさむらに きえていきました。  
「さんぽ、たのしかったあ、おなかすいたあ。」  
みんな そう いいあって、てを つないで かえります。  
さくらも にこにこ げんきに あるきます。





おひるごはんの じかん、  
あみや さくらたちは、たのしかった さんぽの ことを  
おともだちに いっぱい はなしました。  
「あのね、さんぽに いったらね……。」





# さんぽコース その2

えんのもんだちが ときどき できるところだよ。

## ●あしたのもりほいくえん



●とります しゃしんかん  
えんのみんたを うつして来るよ。



●ふくらパン  
あんぱんとカレーパンが  
にんきのパンやさん。



●くじらが はま  
くじらが ときどき あそびにくるよ。  
かにや やびかりもいっぱいいるよ。



●たこすけ  
とれたての さかなや  
かいが いっぱい。



●うみべ  
かいがらの ネットレスや  
ブローチをうっているよ。

●うえむら  
まじよの ぼうしを  
つくっているという  
うわさの ぼうしやさん。



●フルーツショップ きのした  
いろいろなかきものを  
うっているよ。  
ジュースも のめるよ。



●まきまぼくじょう  
うしや やぎや にわとりを かんているよ。



●ケーキの あまの  
たんじょうびに すきな  
せんせいと いっしょに  
ケーキを かいに いくよ。



●あめだ  
きれいな いろや  
もようの かさを  
うっている みせだよ。



●ひえひえ  
まきまぼくじょうの ミルクで  
アイスクリームを  
つくっているよ。





『おてんとうさまがみてますよ』（PHP）などがある。『動物ふしぎ発見』シリーズ全五巻（くもん出版）で、第34回日本児童文芸家協会賞特別賞、『深く、深く掘りすすめ！〈ちきゅう〉』（くもん出版）では第1回日本子どもの本研究会作品賞を受賞。現在、一般社団法人日本児童文芸家協会常務理事。

## あのね、さんぽにいったらね

森友会の保育士たちが日頃の保育の中でのエピソードを持ち寄り、ひとつのファンタジーにまとめあげた1冊目の絵本です。絵本の中で生き生きと活動する子どもたち、保育者の姿は、そのまま保育園・こども園での姿と重なります。絵本づくりのプロジェクトを通して、私たちがこれまで大切にしてきたこと、これからも大切にしていきたいことをあらためて俯瞰して見ることができました。この1冊を、今後の保育をよりよくしていくための糧にしていきたいと思っています。

- 原案　社会福祉法人森友会（しんゆうかい）  
絵本プロジェクトチーム  
立山貴史　四十物谷悠紀　青木萌　安藤智恵　遠藤智子  
金子菜美　川村由衣　小松真美　清水仁美　田中美穂  
堂領志伊奈　仲井悠人　宮田雅美
- 文・絵・アドバイザー　山本省三
- 題字　山本淳子
- デザイン　長谷川由美
- 企画制作・編集　若尾さや子(リボングラス)
- 発行者　社会福祉法人森友会(しんゆうかい)  
大分県大分市顕徳町2丁目2番41号  
電話097-536-6006
- 印刷所　東京印書館

### 山本省三(やまもとしょうぞう)

神奈川県生まれ。医薬品メーカーのコピーライターを経て、絵本をはじめ、紙芝居、童話等の創作に携わる。文とさし絵の両方を手掛け、絵本では『月をめざしてしゅっぱつ！』（小学館）、『みんなをのせて　バスのうんてんしさん』（講談社）、『おてんとうさまがみてますよ』（PHP）などがある。『動物ふしぎ発見』シリーズ全五巻（くもん出版）で、第34回日本児童文芸家協会賞特別賞、『深く、深く掘りすすめ！〈ちきゅう〉』（くもん出版）では第1回日本子どもの本研究会作品賞を受賞。現在、一般社団法人日本児童文芸家協会常務理事。



## 「あのね、さんぽにいったらね」解説

手に取っていただいた1冊の絵本の中に社会福祉法人森友会（以下森友会）の保育の特徴をたくさん取り込みました。どのページにもその特徴が盛り込まれていますが、保育園を知らない方が手に取った時に、その特徴が伝わるようにここで紹介したいと思います。

森友会の保育は、異年齢での保育を行っており、0・1歳児が過ごす乳児保育室と、2・3・4・5歳児が過ごす幼児保育室がある園がほとんどです。保育園の中、園庭など異年齢の子どもたちの中で園児は一日を過ごしています。

森友会の保育者は、絵本の最初のページで描かれている、まりえ先生がスカートをはいているように、普段着（ジーパンやスカート等々）を着用しています。家庭的なあたたかい雰囲気大切に、また保育者の所作（物を拾う・椅子に座る・歩く等）を綺麗に見せることができるようになることもあり、普段着を着用し“動きやすい”が一番重視されている「ジャージ」の着用はしていません。

次に、絵本の中で、あみがゆうと先生にトカゲの赤ちゃんについての話をし、そのトカゲを見に行こうと話が進んでいきます。子どもたちの発言から一日の保育が展開されることがあること、「公園に行こう」という発言に対して「行く」と選択する子と、「今やっている事を続けて行う」という選択、どちらも認められる環境も特徴です。

絵本の中に出てくるシーンにもあるお散歩。公園に出かける際の子どもについては、多くても5人程度、それに対して保育者は1人から2人が一緒に行きます。少人数で出かけることで子どもたちは自分たちのペースで歩き、様々な所に目を向け、気づいたことを保育者や友だちと共有することができます。

さくらの表情が少しずつ明るくなり、自分の考えや知識を発言し、友だちと手をつないで帰っていく成長ぶりを見ても、友達との関わりが密になっていったことがわかります。また、工事現場にたどり着いたように“散歩のコースを子どもたちと決める”ということも少人数でのお散歩の特徴です。

絵本の終盤で“ゆめのでぐち“からいい匂いがし、それに気付いた子どもたちが「お腹が空いたから帰ろう」という選択をします。保育園でも全員で「いただきます」の挨拶をし、食事を始めるのではなく、お腹が空いた子から椅子に座って食事をしたい意志表示を行い、お名前を呼ばれた後に保育者の所に向かい、保育者から取り分けてもらった食事を運び、友達と一緒に食事をします。おなか空いて食べるご飯は格別に美味しく感じました、友達と楽しい雰囲気の中で行う食事では苦手だったものも少しずつ食べることができるようになっていきます。

上記に記載した内容以外にもまだまだたくさんの特徴を盛り込んでいます。話の展開だけでなく、描かれている子どもの表情や背景など、全てに目を向けて読み進めて頂けると子どもたちが様々な場面で“自分”を大切にできる森友会の保育がより伝わるのではないかと思います。